

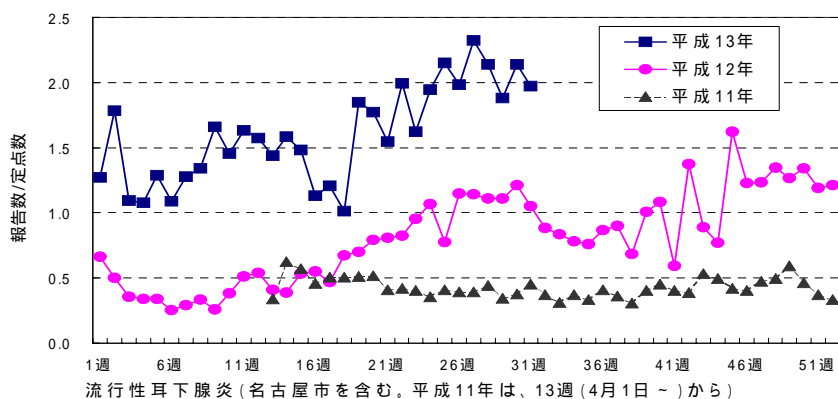
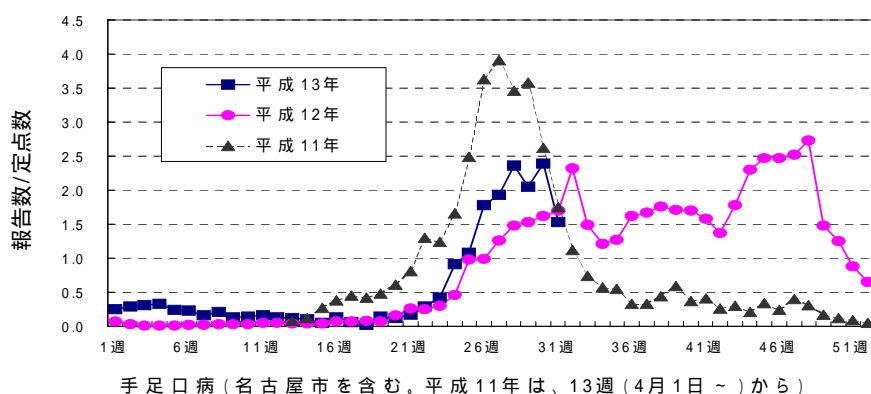
愛知県感染症情報

平成 13 年第 31 週（8 月第 1 週）

（コメント）

手足口病の報告数は減少しましたが、昨年は流行が秋まで続いていますのでしばらく動向に注目したいと思います。

流行性耳下腺炎、咽頭結膜熱は引き続き報告数の多い状況が続いています。



（定点の先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

- ・ 伝染性膿痂疹多いです。

（一宮市 あさのこどもクリニック）

- ・ 病原性大腸菌感染者 4 名 O1（2 歳女、7 歳女）、O15 9 歳男、O148 22 歳女。手足口病の流行は続いています。

（尾西市 城後小児科）

- ・ ヘルペス歯肉口内炎が流行しています。
(犬山市 武内医院)
- ・ プール熱、ヘルパンギーナまだ続いています。アデノ4名(2~6歳4名、10~14歳1名)。風しん1例有り(HI抗体128倍)。
(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)
- ・ 手足口病の流行が続いています。夏休みに入り、夏かぜなどの感染症も少なくなってきました。
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
- ・ マイコプラズマ肺炎 11歳女
(新川町 三輪医院)
- 尾張東部地区
 - ・ 咽頭結膜熱が又、増加しました。ヘルパンギーナは流行していませんが、手足口病も出始めました。細菌性胃腸炎では、サルモネラO4 2歳男、EPEC O18 1歳女。
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
 - ・ ヘルパンギーナは少し落ち着いたようです。流行性耳下腺炎、伝染性紅斑もまだみられております。今週は咽頭結膜熱が少し目立ったように思われます。(兄弟での罹患例が目立ちました。)
(尾張旭市 佐伯小児科医院)
 - ・ 今週は喘息発作が多くみられました。ヘルパンギーナもまだ少しある様です。
(春日井市 かちがわ北病院)
 - ・ ヘルパンギーナが多いようです。
(小牧市 鈴木小児科)
 - ・ サルモネラ、カンピロバクターによる胃腸炎が多く見られます。
(小牧市 志水こどもクリニック)
 - ・ 流行性耳下腺炎 6歳男 H11.11ワクチン済
(東海市 小児科ハヤカワ医院)
- 西三河地区
 - ・ サルモネラ O4 3歳男。 *Yersinia Enterocolitica* 病原性大腸菌 O1 10ヶ月男。 *Campylobacter Jejuni* 病原性大腸菌 O169 7歳女
(豊田市 星ヶ丘田中こどもクリニック)
 - ・ 病原性大腸菌 O18 VT(-) 1歳男、 サルモネラ O7 2歳男、サルモネラ O4 15歳女。ウイルス性下痢症と思われるもの散発
(岡崎市 花田こどもクリニック)

- ・ 病原性大腸菌 01 5 歳女
病原性大腸菌 0166 とサルモネラ 04 2 歳女
(岡崎市 水野医院)
- ・ 病原性大腸菌 018 VT(-) 1 歳
(幸田町 とみた小児科)
- ・ カンピロバクター 13 歳男。サルモネラ 07 11 ヶ月男
(碧南市 永井小児クリニック)
- ・ ヘルパンギーナはまだ目立ちますが、感染症全体に減少傾向にあります。
(西尾市 山岸クリニック)
- ・ マイコプラズマ 4 歳女
(三好町 三好町立三好病院)

● 東三河地区

- ・ 病原性大腸菌 O18 (10 歳男 VT(-) 1 歳女 VT(-))
(豊橋市 こどもの国大谷小児科)
- ・ 帯状疱疹 13 歳女
(豊川市 総合青山病院)

(1~3 類感染症の発生状況)

腸チフス患者 1 名

- ・ 豊橋市保健所から報告の 24 歳女。8/2 発病、8/2 初診、8/4 診定。

細菌性赤痢患者 1 名

- ・ 知多保健所から報告の 25 歳女。8/2 発病、8/2 初診、8/5 診定。菌型は、ゾンネ 相。タイ渡航歴あり。

腸管出血性大腸菌感染症患者 7 名

- ・ 豊田市保健所から報告の 8 歳女 (7/27 発病、7/27 初診、8/1 診定)。18 歳男 (7/24 発病、7/28 初診、8/2 診定)。菌型はいずれも 0157 VT1・2(+)。
- ・ 瀬戸保健所から報告の 32 歳女 7/27 発病、7/28 初診、8/1 診定 0157 VT1・2(+)。4 歳男 7/27 発病、8/1 初診、8/3 診定。
- ・ 豊川保健所から報告の 56 歳女。7/27 発病、7/29 初診、8/1 診定。菌型は、0157 VT(+)。

- ・ 新城保健所から報告の 6 歳女。7/22 発病、7/26 初診、7/30 診定。
菌型は、0157 VT1・2(+)。
- ・ 足助保健所から報告の 14 歳女。7/24 発病、7/25 初診、7/30 診定。
菌型は、0157 VT1・2(+)。

腸管出血性大腸菌保有者 1 名

- ・ 新城保健所から報告の 9 歳男。7/31 初診、8/3 診定。菌型は、
0157 VT1・2(+)。

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

AIDS 患者 1 名。

第 29 週(7 月 16 日～7 月 22 日)の 4 類感染症の全国状況

流行性耳下腺炎は、最近 10 年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が 11 週間続いており、都道府県別では福井県 5.1、石川県 5.0、佐賀県 4.4 などの報告がある。咽頭結膜熱は、最近 10 年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が 2000 年第 41 週から続いており、都道府県別では滋賀県 1.4、群馬県 1.2、岐阜県、静岡県各 1.0 などの報告がある。麻疹、ヘルパンギーナなどの定点当たり報告数は、過去 5 年間の同時期と比較してやや多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)